

事務事業名	合志市祭実行委員会助成事業					☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気であふれるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
施策名	計画 15	市民参画によるまちづくりの推進				所属係	商工振興班	課長名	財津 幸泰
基本事業名	体系 46	地域づくりネットワークの推進				担当者名	中嶋 繁之	電話番号 (内線)	248-1115 1253
予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容)合併記念と産業振興を目的に、合志市祭実行委員会へ助成をし、祭りの計画から運営まで自主的な活動の支援を図る。 (業務の内容)補助金申請書の受付、交付決定、支払、実績報告。 (予算の内訳)補助金(6,000,000円)						総 投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
								人件費	
								正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
								人件費計(B)	0
								トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

合志市合併記念祭実行委員会への補助金の支出

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

新たな実行委員会への補助金の支出

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

祭り実行委員会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

祭り実行委員会へ補助を行うことによりスムーズな運営を図る

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

相互に連携して取り組んでいる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 申請、受付、交付決定、支払い、実績報告受付処理時間 H

イ
ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 実行委員会との協議時間と処理時間数 H

イ
ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 実行委員会の団体数 団体

イ
ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 市ネットワークへの参加者数 団体

イ
ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			6,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	事業費計 (A)		千円	0	0	6,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	人件費	正規職員従事人数	人			3	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間			210	250	250	250	250	
		人件費計 (B)	千円	0	0	834	993	993	993	993	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	6,834	10,993	10,993	10,993	10,993	
活動指標		ア	H			50	50	50	50	50	
		イ									
対象指標		ア	H			160	200	200	200	200	
		イ									
成果指標		ア	団体			32	25	25	25	25	
		イ									
上位成果指標		ア	団体								
		イ									

合志市

事務事業名	合志市祭実行委員会助成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
旧合志町では産業祭・夏祭り、旧西合志町ではよかとこ弁天祭りの開催により市町村での取り組みが始まった。
新市合併記念祭としては平成18年11月が初回。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
合併前は旧合志町では産業祭・夏祭り、旧西合志町ではよかとこ弁天祭りが行われていた。
合併により新たな祭りが創造されたので今後開催時期やまつりのタイトル・内容・意義など統一する必要がでてきた。
補助金額については合併により全体的には減ったがひとつのイベントとしては予算は増大となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
旧町時代の祭りをそれぞれ実施していくべきとの意見があった。
合併したのだから統一した祭りにするべきだとの意見があった。
伝統的なものではなく「子うしロデオ大会」「人文字大会」など新たなイベントの開催が必要だとの意見があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 祭り実行委員会に補助を行うことにより運営がスムーズに行え市民と協働による親しみある祭りが実施されることに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 実行委員会にはさまざまな団体が参加しており実行委員会への運営の補助としては妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 実行委員会への補助を行い運営を支援していくことにより、さまざまな市民団体が実行委員会へ参加することによる市民協働の祭りづくりの推進の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 補助がなくなることにより実行委員会のスムーズな運営が困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各部署で市民向けのイベントが多々あるのでそれぞれを統合した実行委員会への補助でもよいのではないかと。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 住民がアイデアを持ち寄って経費のかからない市民がつくる市民のための祭りにすれば余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務局としては補助金支出事務であり専門性を有するので削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 実行委員会は全市民が対象であるので公平・公正である。

合志市

事務事業名	合志市祭実行委員会助成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

実行委員会への補助を行い運営を支援していくことにより、さまざまな市民団体が実行委員会へ参加することによる市民協働の祭りづくりの推進の余地がある。
各部署で市民向けのイベントが多々あるのでそれぞれを統合した実行委員会への補助でもよいのではないかと。
住民がアイデアを持ち寄って経費のかからない市民がつくる市民のための祭りにすれば余地がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

祭りの内容、実施方法によって事業費の削減が図られる。
実行委員会の組織づくり・あり方の再検討により効率的な運営が図られる。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業主体の検討。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項